



I K U W A K A I

はぐくみ

医療法人 育和会 育和会記念病院

育和会記念病院
介護老人保健施設 ひまわり〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目20番29号
〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目9番31号TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 <http://www.ikuwakai.or.jp/>
TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

大阪発ビッグイベント

新元号である「令和」の発表とともに、新たな時代が始まりました。医療法人育和会では、「その人らしさを大切に」を合言葉に、地域住民の皆様の健康と疾病予防に貢献するため、最新の医療の提供とこれからの医療介護を担う人材の育成に、職員一同さらなる努力を続けていく所存です。今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和の時代を迎え大阪ではビッグイベントが目白押しです。本年6月にG20大阪サミット、9月にはラグビーワールドカップ、そして6年後の2025年には大阪万博が開催されます。

ラグビーワールドカップは初めて日本で開催されますが、オリンピック、サッカーワールドカップに続くスポーツイベントで、開催期間中海外からの訪日客は約40万人に上ると推測されています。ワールドカップの決勝戦は横浜で行われますので、大阪発とは言い過ぎかもしれませんが、ご存知の通り東大阪の花園は高校ラグビーの聖地で府下には強豪校が多く、平成時代に30回開催された高校ラグビー花園大会の優勝は大阪府代表が実に15回と半数を誇ります。また、生野区の中学はラグビーが盛んで名ラガーマンが地元から多く誕生しています。生野区民として、また大阪府民としてぜひワールドカップを盛り上げ、日本代表チームの活躍に期待したいと思います。

前回大阪で万博が開催されたのは1970年で、私自身はまだ就学前でしたが、月の石や、個性的な形状のパビリオン群、圧倒的な存在感を放つ太陽の塔と、それを背景に三波春夫氏が歌う「世界の国からこんにちは」など、いずれもSFの未来を感じさせるインパクトがあり、鮮明に記憶に残っています。

当時は月という太陽系のごく一部を垣間見ただけでしたが、まだ見ぬ宇宙への探究心を駆り立てるに十分であり、今では探査機はやぶさが太陽系の果てから物質を持ち帰るまでに日本の技術は進歩しています。前回の万

博は宇宙開発のマイルストーンとしてその意義はとて大きかったと思えます。技術革新の契機になるだけでなく、その経済効果においても2025年万博は約2兆円とも言われており、大阪の活性化のためにもぜひ成功させたいビッグイベントです。

大阪万博でどんな未来像を見せてくれるのかとても楽しみです。私たちの社会保障を取り巻く環境も2025年に向けて大きく変化しようとしています。いわゆる2025年問題への解としての地域医療構想です。大阪では、公・民イコールフィッティングを目指す独自の地域医療構想が取りまとめられつつあり、これも大阪発のビッグイベントというべきでしょう。府下すべての医療機関の診療実績を徹底的に「見える化」し、公・民の区別なく地域の課題を共有化して、2025年問題への対策を含め将来のあるべき姿を取りまとめているところです。医療・介護・居住サービスを住み慣れた地域で提供するには、公・民・医院・病院が一体となって改革を進める必要があります。

ラグビーの魅力は、体格の異なる個性豊かなメンバーが、コミュニケーションをとり一丸となって課題を乗り越えていくところにあります。地域医療構想においても、ラグビー精神さながら、各病院や医院が互いの個性を尊重しながら課題を克服し、地域住民の方が安心して暮らせる大阪を創っていくことが求められています。次回大阪万博のテーマは「命輝く未来社会のデザイン」、開催は奇しくも2025年。大阪地域医療構想、ラグビーワールドカップ、大阪万博、これら令和時代に大阪で迎える3つのビッグイベントの意義はその根底において繋がっているように感じます。これらのイベントを通じ、来る2025年、人口、医療システムにおける課題先進国として夢のある解決策を、大阪発で世界に発信する、そうありたいと願っています。

令和時代もどうぞよろしくお願い申し上げます。

育和会記念病院 理事長
山住 俊晃

新任 医師 紹介

今年の4月から、新しく入職した先生方に、
下記の質問に答えていただきました。

- Q1 出身・前住地はどこですか？
Q2 専門分野・資格・これまでの実績など
Q3 育和会記念病院での抱負・方針

研修医 櫻井 太佑

サクライ ダイスケ



A1 出身は大阪市です。
和歌山県立医科大学を卒業しました。
A3 皆様のお役に立てるよう日々精進します。

研修医 藤井 敦也

フジイ アツヤ



A1 大阪市出身です。
大阪市立大学を卒業しました。
A3 研修を通して立派な医師となれるよう、精進していく所存です。

研修医 茂木 祥子

シゲキ ショウコ



A1 大阪出身です。
大阪市立大学を卒業しました。
A3 知らないことが多く、戸惑うことも多いですが、勉強し続けて少しでも力になれるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

外科 丸尾 晃司

マルオ コウジ



A1 大阪府豊能郡豊能町出身
大阪市立大学医学部医学科卒業
初期研修終了後、大阪市立大学医学部附属病院外科に入局
大阪市立大学医学部附属病院で臨床経験を積んで参りました。
A2 消化器外科、乳腺・内分泌外科
A3 手術を受ける必要のある患者さまやご家族の不安は量りしれないと思いません。検査や治療方針の説明にあたっては、少しでも分かりやすく安心感をもってもらえるよう心がけます。外科医としてまだまだ未熟ですが、日々成長できるよう努力して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

放射線科 前田 裕之

マエダ ヒロユキ



A1 滋賀県出身 滋賀医科大学卒業
京都の洛和会丸太町病院で研修を終え、大阪市立大学医学部附属病院放射線科に入局
A2 放射線科専攻医
薬剤師免許ももっています。
A3 普段は患者さんの前には現れない放射線科医ですが、CTやMRI画像を通じて間接的に患者さんを診させてもらってます。皆さまのお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

研修医 石塚 拓也

イシヅカ タクヤ



A1 出身は東大阪市です。
大阪市立大学を卒業しました。
A3 立派な医師になれるよう、一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

開放型病院制度のご案内



当院では地域の医療機関と連携を図りながら、患者さまに対して継続性・一貫性のある医療を提供することを目的とし、平成25年10月より開放型病院制度を運用しています。

●登録医の主な特典

- ・入院した紹介患者さまの診察に関する施設等の共同利用(開放病床等)
- ・入院した紹介患者さまへの訪問、病院主治医との意見交換、カルテ閲覧等
- ・当院主催の症例検討会や研修会等への参加
- ・登録医医療機関名のホームページおよび院内掲示版での掲載案内

・登録医医療機関への逆紹介の推進

・登録医証の発行

・開放型病床を利用され共同診療・指導を行った場合、
開放型病院共同指導料(1)算定(患者さま1人1日につき350点)

今後もたくさんの先生方に「登録医」として連携にご協力いただくことを心よりお待ちしております。ご希望の場合は地域医療連絡室(電話 06-6758-8115)までお問い合わせいただければ幸いです。

登録医一覧 (地区別五十音別 敬称略)

医療機関名	医師名	郵便番号	住所	電話
有沢医院	有澤健司	544-0013	大阪市生野区巽中2-4-19	6758-1154
井神クリニック	井神 仁	544-0014	大阪市生野区巽東2-5-31	6757-1346
ウヤマ・イマムラ医院	山中知佳	544-0005	大阪市生野区中川5-5-5	6753-1471
浦岡小児科	中村美奈子	544-0006	大阪市生野区中川東2-13-17	6754-0511
大江内科	大江洋史	544-0013	大阪市生野区巽中1-21-18	6758-2085
大江整形外科	大江久之	544-0013	大阪市生野区巽中1-21-18	6758-5550
小倉医院	小倉恭子	544-0002	大阪市生野区小路東3-1-28	6751-6178
葛西医院	小林正宜	544-0003	大阪市生野区小路東6-4-20	6751-6078
岸田内科	岸田泰弘	544-0003	大阪市生野区小路東1-3-26	6751-3500